

るーぷる

国立県営福岡障害者 職業能力開発校を 1つ存知ですか？

こへりつらんえいふくおかしょうがいしゃ
職業能力開発校を
1つ存知ですか？

るーぷるには障害が有っても働きたい、結婚して家庭を築きたいという相談が多々あります。しかし、障害があると仕事に就くことが難しくなかなか未来への展望が描けません。特に人生の半ばで障害を持つことになった場合などは、これまでの職業経験があまり役に立たないこともあるようです。そこで、今回は障害のある人に適応する職種の知識や技能の習得、公共職業安定所との連携で就職斡旋を行うなどの支援をしている、北九州市若松にある障害者職業能力開発校を取材してきました。

安部佳代子

「るーぷる」からの支援で3人の方が学ばれているので、その方の話も聞けたらというところで7月9日（火）に編集委員3名と運転ボランティア1名、職員1名で取材に行きました。

今は名称も変わり、場所も北九州市若松区へ変わっていますが、以前は北九州市小倉北区にあり、そこでは私は訓練生として卒業しました。

副校長先生に「るーぷる」からの訓練生の方達を呼んでいただき、入校して三ヶ月の心境などを聞くことになりました。

お互いに初めての方もいて、ぎこちない面もありましたがそれぞれに充実していて楽しいと話されています。

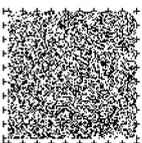
平成5年から20年経った開発校はまだまだ新しい感じの四階建て

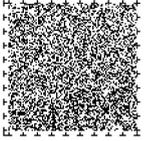
でエレベーターが設置され、一つは病院のベッドが二台入るくらいのもので大きなものとその横に標準型のものであります。

習得できる科目もこれまで私がいた頃とはまるっきり変わっています、コンピュータ製図科、プログラミング設計科、商業デザイン科、OAビジネス科、福祉住環境科(建築設計科)、流通ビジネス科、総合実務科の七科目でプログラミング設計科は2年訓練(他は1年訓練)、総合実務科は知的障害のある方対象となっています。

最初に見学した流通ビジネス科には目の不自由な方のために音声パソコンやそのための外部からの専門的な講師も来られています。

また教室も学科と実技とでそれぞれに習えるようになっている科目





のところもありました。時間がなかったのを見学はできなかったのですが寮も完備されており、今は就職率も60%くらいあり、仕事も長続きされる方もいるようでも障害があっても「技術をおぼえる、技術を磨く」という選択肢もあり、少しでも「働く、働ける」という希望や未来をつなげることも可能ではないと感じさせられました。今回、開発校に行くのに車イスでは公共機関が使いにくいということで、宮若市には「福祉車両貸出し」というサービスがあり車両を貸していただき、元るーぶる編集委員Fさんが運転ボランティアを引き受けてくださったりと幸運に恵まれて「るーぶる」の広報紙編集部が快適な取材ができてよかったです。ありがとうございました。

後藤美津枝

私も訓練校出身です。結婚を機に理容店をしていた主人の手伝いが出来ればと理容科に入りました。当時、小倉に有りましたので鞍手から毎日車で通いました。10人ほどの中から理容の仕事に就いたのは4人ほど、今も2人は現役です。整った環境の中生き生きと学んでいる皆さんの姿に接し嬉しく思いました。自分の可能性を信じ頑張ってくださいたいと思います。

桐生京子

このあいだ国立県営福岡障害者職業能力開発校に行ってみました。そこで皆さんも知っておられる3人の方にお会いしてお話を聞いてきました。皆さんいろいろなコースにおられ、ここで学んだことを生かして働きたいと言っておられました。

取材風景



総合実務科・商品在庫管理などの訓練



福祉住環境科・過去の卒業生作成



宮若市社協の福祉車両貸し出しを利用しました

福岡障害者職業能力開発校
 〒808-0122
 北九州市若松区蟹住1728-1
 ☎093-741-5431
<http://www.fukuoka-kunren.net/>
 施設見学は毎週木曜日
 (事前予約制) 13:30からです
 お気軽にお問い合わせください
 ☎093-741-5431



開発校正面玄関にて
 編集委員+ボランティア

公共施設の

バリアフリーを考える

思いやりの駐車場（読者投稿）

先日雨の日に宮若市役所に用事があり、娘と一緒に車で行きまして、するとそこには、思いやりの駐車場がありました。

私は子どもを出産してからというもの、母親の力無しには動かない心地よい状態であることのできない小さな子どもを連れて外出したり買い物したりするのは、一苦労だと感じています。

ましてや雨の日には車の乗降の際に傘をさして子どもを抱くときに、じゅうじゅうも濡れてしまいます。それは子どもも私も荷物も全てです。なので、雨の日の外出は気持ちが億劫になり、出来るだけ外出したくありません。

そんなときに思うのが、身体障害の方々の苦勞です。車いす

の方は、車の乗降の際に屋根が無かったらびしょ濡れになること降のてから目的地までカッパを着なければならなりません。

その立場にならないと本当の苦勞は分らないとは思いますが、自分も子どもを持って先述したような困ることの多い立場になってみて、障害者の方の苦勞が他人事ではないと感じています。そして、人や場所の思いやりや冷たさをより感じるようになりました。

宮若市役所の駐車場は、車椅子の方や障害をお持ちの方だけでなく一般の方も利用できる屋根付き駐車場と、入り口までの屋根付き通路があります。

私は雨の日こそこを利用しましたが、子どもと一緒に車に乗降や降りてからの移動を億劫に感じることもありませんでした。

快適にご利用させていただいて、

そのような駐車場を設置していただいていることに感謝の気持ちを抱きました。

思いやりの駐車場、皆さんの近くにはありますか？



お知らせのご案内

サポステ

筑豊若者サポートステーション

働くことについて様々な悩みを抱えている、一歩が踏み出せない15歳から30歳までの方やそのご家族を対象に、就労に向けた支援をする窓口を開設しました。

カウンセラー・臨床心理士による個別相談や職業体験、学習会や交

流会などを実施します。

・お問合せ：筑豊若者サポートステーション（飯塚市吉原町6-1-1 あいタウン3階）
TEL：0948-26-6711

・開設日時：月・土曜日（日祝祭日除く）10:00～17:00

・直方サテライト（障害者相談支援センターーびる内）

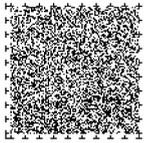
第1・3金曜日、10:00～17:00
個別相談実施



筑豊若者サポートステーションのおがたは、直方サテライトがるーびる内に開設されました。

るーびるは障害者の支援センターですが、障害のあるなしにかかわらず利用できます。

あらかじめ予約が必要ですが、詳細についてはサポステ、またはるーびるにお問い合わせください。



○原稿募集

今回は11月発行です。

原稿の締め切りは9月末の都合で1,200字以内。

あなたの思いを文章や詩、イラスト、写真などに込めて。また、友達募集やサークル活動案内などなど…。何でも頑張ってください。

○編集後記



後藤美津枝



「いつやるか?」今でしょ!」予備校講師の林修さんの言葉は、今年前半流行しました。

私もやるべきことを後回しにして、後悔した経験が沢山あります。明日があると思うから後回ししていましたが、もしないと思えばそれは出来ません。

生きていく今できること、一杯取り組み人生の終わりで、「あれしとけばよかった」という悔い

だけは残したくないと思うので

生きていく限り苦労はつきものですが、負けずに勇気と希望をもって生きていけばきっと光が見えると思います。

はまなすの花言葉は「美しい悲しみ」だそうです。

悲しみのどん底に突き落たせてもそこから立ち上がり希望を見つけて生きていくその心中に本当の美しさが輝くと言われたのを思い出します。

もう駄目だと思つ時こそ「ネバーギブアップ」、振り返った時きつと最高の思い出になるはず



るーぷる 業務案内

相談窓口

火～土 8:30～17:00 来所・電話・FAX・Eメールにて、生活全般に関する相談を受けています。

交流広場7番地

火～土 8:30～17:00 どなたでも気軽に立ち寄れるフリースペースです。ご自由におくつろぎください。お茶、電子レンジ、パソコン(インターネット)などが無料で利用できます。

サービス等利用計画作成

福祉サービス(障害者自立支援法に定められたもの)を利用中または利用予定の方の相談を受け、利用計画を作成するなどして福祉サービス利用を継続的に支援します。

広報誌るーぷる

年4回発行予定。ご自宅への郵送もいたします。視覚障害者向けに点字版・カセットテープ版・SPコード版があります。読者投稿は随時受付中です。

[るーぷる No. 27] 発行・編集/障害者相談支援センターるーぷる [広報誌るーぷる編集事務局]

TEL: 0949-25-7010 FAX: 0949-22-6088

E-mail: s-life-support-c@tempo.ocn.ne.jp

